

主要農作物の生育・出荷状況

令和6年7月31日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈が平年より長く、莖数は概ね平年並、葉齢は概ね平年より進んでおり、葉色は平年より濃い(7/16調査)。幼穂形成期が平年より1~4日程度早いことから、出穂期は平年より1~4日程度早まる見込みである。出穂は7月25日頃から始まり、出穂始は7/31(平年8/2)で平年より2日早い。 ・南会津町田島地区や下郷町では葉いもちが散見されており、発生程度中以上のほ場も見られる。また、残草が多いほ場が一部で見られる。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中耕培土は適切に行われ、雑草はほとんど見られないが、アサガオ類、ヤブガラシ、ツルマメが一部で見られる。また一部のほ場でシカによる食害が見られる。
野菜	<p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷は7月10日から開始され(平年比+1日)、1~2段収穫中。 ・高温及び曇天の影響で葉先枯れや萎れの発生が例年より多い。 ・花落ちが6~8段で発生しているが、発生量は例年と同程度である。 ・青枯病が少発生で、例年より早く発生している。また、オオタバコガ、アザミウマ類が少発生している。 <p>【アスパラガス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷状況(JA全農福島 令和6年7月30日現在) 出荷数量 前年比91% 販売金額 前年比98% 単価 前年比108% ・施設栽培で斑点病が中発生している。害虫は、オオタバコガが多発生、カメムシ類が中発生している。露地栽培は、一部のほ場で茎枯病が中発生している。害虫は、アザミウマ類、ハダニ類が少発生している。
花き	<p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区(7月16日時点) 早生品種 草丈 113.3cm(平年比104%) 節数24.5(平年比99%) 彼岸品種 草丈 117.0cm(平年比103%) 節数25.6(平年比98%) 早生品種は7月16日から出荷開始。葉枯病、黒斑病が少発生。葉枯病は増加傾向である。また、一部のほ場でオオタバコガの発生が見られるが、少発生である。 ・西部地区(7月17日時点) 早生品種 草丈 106.6cm(平年比86%) 節数 24.3(平年比95%) 彼岸品種 草丈 127.8cm(平年比112%) 節数 29.0(平年比106%) 早生品種は7月11日より出荷開始。葉枯病、黒斑病、ハダニ、アブラムシが少発生している。また、一部のほ場で褐斑病の発生が見られるが、微発生である。 日量300箱ほどの出荷。 <p>【カスミソウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区(7月19日時点) 新植(6月中旬定植) 草丈30~35cm程度 ハモグリバエ、オオタバコガの発生が一部のほ場で見られるが、少発生である。 ・西部地区(7月17日時点) 新植(6月上旬定植) 草丈40~45cm程度 ハモグリバエ、オオタバコガの発生が一部のほ場でみられるが、少発生である。 東部西部合わせて日量180ケースほど出荷。

果 樹	<p>【リンゴ】</p> <ul style="list-style-type: none">・「ふじ」（南会津中荒井地区）の果実肥大（7月15日現在）は縦径51.2mm（平年比114%）、横径55.6mm（平年比115%）となっている。 <p>【ブドウ】</p> <ul style="list-style-type: none">・5月10日の凍霜害の被害を受けたブドウでは6月中旬以降ジベレリン処理が実施されており実止まりが良く、標準着果量の約7割の着果量となっている。
畜 産	<p>【飼料作物】</p> <ul style="list-style-type: none">・2番草伸長しており生育は良好で、収穫開始直前となっている。